

みずほCustomer Desk Report 2016/09/28 号(As of 2016/09/27)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	100.31 AUD/USD
TKY 9:00AM	100.38	1.1249	112.94	0.9690	1.2966	0.7631
SYD-NY High	100.99	1.1259	113.58	0.9728	1.3028	0.7695
SYD-NY Low	100.09	1.1191	112.25	0.9663	1.2938	0.7612
NY 5:00 PM	100.43	1.1209	112.64	0.9709	1.3025	0.7668
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.98/10.35		△25RR	1.570	Yen Call Over	
NY DOW	18,228.30	133.47	債券市場	日本2年債	-0.2550	▲2.8bp
NASDAQ	5,305.71	48.22		日本10年債	-0.0740	▲1.0bp
S&P	2,159.93	13.83		米国2年債	0.7421	0.8bp
日経平均	16,683.93	139.37		米国5年債	1.1119	▲0.7bp
TOPIX	1,349.22	13.38		米国10年債	1.5564	▲2.7bp
シカゴ日経先物	16,510	180.00	為替市況	独10年債	-0.1390	▲2.3bp
ロンドンFT	6,807.67	▲10.37		英10年債	0.6720	▲2.5bp
DAX	10,361.48	▲32.23		豪10年債	1.9690	▲0.1bp
ハンセン指数	23,571.90	253.98		USD/CNH	6.6841	0.0009
上海総合	2,998.17	17.74		ドルインデックス	95.47	0.17
USDJPY 3M Vol	12.15	0.03%	商品市況	CRB指数	183.105	▲1.88
USDJPY 6M Vol	11.50	0.08%		NY金	1,330.400	▲13.70
EURJPY 3M Vol	12.23	0.20%		WTI	44.670	▲1.26
EURJPY 6M Vol	12.11	0.17%		Dubai Spot	-	-

【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
9月27日	8:50	日	日銀金融政策決定会合 議事要旨(7月会合)	-	-	-
	10:00	米	大統領選民主・共和党候補 テレビ討論会	-	-	-
	17:00	欧	マネーサプライM3(前年比)	8月	5.1%	4.9%
	22:45	米	マークイット・サービス業/コンポジットPMI(速報)	9月	51.9/52.0	51.2/-
	23:00	米	消費者信頼感指数	9月	104.1	99
	23:00	米	リッチモンド連銀製造業指数	9月	-8	-2
9月28日	0:15	米	フィッシャーFRB副議長 講演	-	-	-

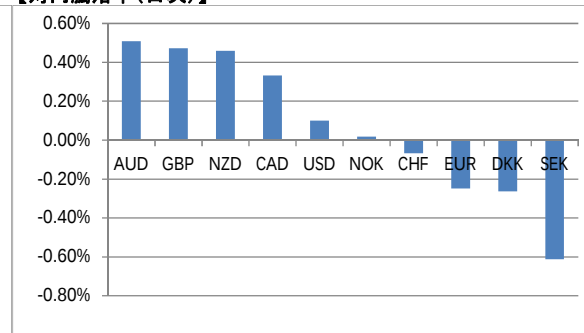
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
9月28日	21:30	米	耐久財受注/製造業受注(前月比・速報)	8月	-1.5%-0.1%	4.4%/1.5%
	23:00	米	イエレン・FRB議長 議会証言	-	-	-
	23:15	米	ブラート・セントルイス連銀総裁 講演	-	-	-
9月29日	2:30	米	エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-	-
	5:35	米	メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	東京市場オープン直前に日銀金融政策決定会合議事要旨(7月分)が発表されたが、先週9月会合の「総括的な検証」の結果が出た後ということもあり相場への影響は限定的となり、ドル円は100.38レベルでオープン。前日海外時間の流れを引き継ぎ、安寄りした日経平均株価が前日比200円超安と下げ幅を拡大する中、ドル円は安値100.09をつけるまで連れ安となる。しかし、更なる下落とはならず、寧ろショートカーの買いが入ったと見られ、100円台半ばまで反発。その後、米大統領選に向けて実施された第1回TV討論会で民主党クリントン候補と共和党トランプ候補が直接対峙。1時間半に及ぶ討論の内容は、経済政策・安保政策・過去の両候補の発言等に渡った。初めての討論会を終えて市場では、比較的現政権に近い政策をとると見られているクリントン候補の方が、トランプ候補より優位に討論を進めたとの見方が出ている。午後に入ると第1回TV討論会を大きな波乱なく通過したことや、実施された本邦40年債入札が無難に通過したことなどから市場に一定の安堵感が広がる中、日経平均株価は前日比プラス転、ドル円も100円台後半までじりじりと上昇し、高値100.99をつけた。結局、ドル円は100.89レベルにて海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は終始下落する展開となった。朝方は100.89レベルでオープン。欧州株は前日比プラスで取引を開始したものの、米司法省が大手自動車会社の排出ガス不正をめぐる罰金金額について、同社を経営危機に追い込まない範囲でどれだけ課することができるか検討しているとの報道や、独大手銀行株の続落などを要因としてDAXを筆頭に下落。また、イランが現状水準で原油生産量を凍結する意思がないとの報道を受け原油価格も下落するなど、全般的にリスク回避姿勢が強まる中で、ロ円が全般的に下落。ドル円も連れ安となり、100.29レベルでNYへ渡った。ロンドンドルは1.30ちょうど近辺から1.29台前半まで下落後、反発の展開。朝方は1.3002レベルでオープンし、序盤から英金利が低下する中でロンドンは1.29台前半まで下落。ユーロ・ポンドが高値から反落し始めるとポンドの買い優勢となり、1.2987レベルまで回復してNYへ渡った。(ロンドン17:00 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は100.29レベルでNYオープン。朝方発表された米9月マークイットサービス業PMI、同9月消費者信頼感指数は予想を上回ったが、同9月リッチモンド連銀製造業指数が大きく予想を下回る強弱混在の結果に市場の反応は限定的。その後は、新規材料に欠き、米10年債利回りが横ばいの推移となる中、ドル円は100.30-40を中心とする小幅な値動きに終始。結局、100.43レベルで海外市場に渡った。一方ユーロ・ドルは1.1226レベルでNYオープン。ロンドン時間からの軟調な推移を引き継ぎ下値を試す動きに一時安値1.1191をつけるが、この水準では下げ渋り、1.1215レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 伊藤・坂本

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	99.50-101.00	1.1150-1.1250	111.50-113.50

【マーケット・インプレッション】

アジア時間に、米大統領選候補によるテレビ討論会でのクリントン候補優勢の報道を受け、101円手前まで反発したドル円相場は、欧州時間に入ると再び下落。米大手証券会社による価格見通しの引下げを受けた原油価格の下落や独大手金融機関の業績不安をきっかけとした欧州株の下落を背景にリスクセンチメントが再び悪化する中、ドル円相場も100円台前半まで下落する格好に。米国時間に入ると上述テレビ討論会の結果やこの日発表された9月の米消費者信頼感指数の改善を受け、米株が上昇したことでもドル円も戻りを試す展開となるも、上げ幅は限定的で結局100円40銭を挟んで本日東京時間に。本日のドル円相場は、前日の米大統領選候補者による討論会でのクリントン候補優勢の報道にリスクセンチメントの後退は一服しているものの、依然としてドル円は上値の重さが意識されており、一段の下方向に警戒が必要かと思われます。